

医療と暮らしの、**間**にあるもの

お祭り・カフェで、医療と生活者にふれる。



お祭りの救護所、コミュニティカフェ、商店街、子どもたちの遊び場。
病院の外側に身を置いたとき、**医療と暮らしの間**に見える景色を、
一緒にすこし覗いてみませんか？

DAY 01

8月2日 (日)

検見川神社例大祭
救護所体験 × 地域診断

@検見川神社救護所 / みずほの里跡地

DAY 02

9月19日 (土)

コミュニティカフェ
体験 × 地域診断

@みずほの里跡地 (Shell Beach Kitchen)

短めのレクチャー + 住民との対話・街歩き + 振り返り

対象

千葉大学医学部生
(学年不問)

定員

各日 2 名
(計 4 名)

参加費

無料
食事の手配あり

応募

千葉大 C-COME
募集ページより



夏季フィールドワーク企画書

1. サイト：みずほの里跡地 & 検見川町
2. 住所：千葉県千葉市花見川区検見川町5丁目2240-4（最寄り駅：JR新検見川駅）
3. ホームページ：<https://mizuhono-sato.org/>
4. 実習担当者：医師 長谷部圭亮
5. 日時：8月2日(日)、9月19日(土) 各日完結のプログラム・単日参加可
6. 対象：1~6年生
7. 受け入れ人数：4名(各日程毎に2名まで)
8. 目標：病院の外側に身を置き、医療者が地域に溶け込むプロセスのなかで生活者と出会い、地域診断を体験する。これらを通して、総合的に患者・生活者をみる姿勢を学び、育む。
9. 内容：地域医療サークル「ちいたん」との協働企画。検見川町を舞台に、2つの異なる場で地域診断を試みる、各日完結のプログラム。
 - ① 8/2(日) 検見川神社例大祭 救護所体験 × 検見川町の地域診断
 - ② 9/19(土) コミュニティカフェ体験 × 検見川町の地域診断
10. 宿泊施設の有無：なし
11. 食事の準備：なし（手配します）
12. 学生へのメッセージ

医療者として地域にどう関わっていくか、長い間、考えてきました。横芝光町立東陽病院で、コミュニティドクター・ナースチームの仲間と、医療とまちづくりが織り混ざった様々な活動を進めるなかで見てきたのは、診察室の外側にこそ、人を健やかにする手がかりがたくさんあるということでした。AIが医療を急速に変えていくこれからの時代こそ、医療者が地域の暮らしの中に身を置く意味は、いっそう大きくなっていくと感じています。

2028年2月、千葉市検見川町に、診療所・カフェ・図書館などを併せもつ地域共生拠点「みずほの里」が誕生する予定です。その準備期にあたる検見川町で、地域医療サークル「ちいたん」の仲間と一緒に、医療者が地域に溶け込んでいくプロセスを、地域診断とともに体験する機会を企画しました。

お祭りの救護所、コミュニティカフェ、商店街、子どもたちの遊び場。病院の外側に身を

置いたとき、「医療」と「暮らし」の間に見える景色を、一緒にすこし覗いてみませんか？
医師になる前の貴重な時間をどう過ごすか。その問いに、何かしらの種を残してくれる経験
になればと思っています！